

会 議 議 事 録

1 会議名	平成30年度第4回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	平成31年3月22日（金）午後2時30分から午後4時まで
3 開催場所	アオーレ長岡 西棟3階 協働ルーム
4 出席者名	<p>（委員）中村委員長 山崎委員 高橋委員 楨委員</p> <p>（説明のために出席した関係者）</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 水流理事長 公立大学法人長岡造形大学 和田学長 公立大学法人長岡造形大学 河村副理事長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 中村企画調査室長 公立大学法人長岡造形大学 白崎企画調査室係長 公立大学法人長岡造形大学 五十嵐企画調査室主任</p> <p>（事務局）長岡市地方創生推進部 渡邊部長 長岡市政策企画課 茂田井課長 長岡市政策企画課 河上課長補佐 長岡市政策企画課 林係長 長岡市政策企画課 渡邊主査 長岡市政策企画課 渡辺主査</p>
5 欠席者名	草間委員
6 議事	<p>（1）中期目標期間終了時の検討について</p> <p>（2）第2期中期目標の策定について</p> <p>（3）役員報酬規程の改正について</p>
7 審議結果の概要	<p>議事（1）長岡市が行う「法人業務継続の検討案」などについて、委員から意見を聴取し、了解を得た。</p> <p>議事（2）第2期中期目標骨子案について、各委員から発言があ</p>

	<p>り、今後の素案づくりに反映させることとなった。</p> <p>議事（３）役員報酬の改正について、委員から意見を聴取し、了解を得た。</p>
<p>8 審議の内容</p>	
<p>事務局・政策企画課課長補佐</p>	<p>ただいまから、平成30年度第４回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。</p> <p>本日、４名の委員からご出席いただいておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第５条第３項の規定により、会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>なお、このたびの評価委員会は長岡造形大学から水流理事長、和田学長、河村副理事長、久島事務局長ほか３名の事務局職員に出席いただいております。</p> <p>それでは、議事の進行を中村委員長にお願いしたいと思います。中村委員長お願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、進行を務めさせていただきます。</p> <p>議事に入る前に、今回の評価委員会の議事録署名人ですが、高橋委員と槇委員にお願いしたいと思います。</p> <p>(高橋委員、槇委員了解)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、議事を進めてまいります。</p> <p>今回の議事は３件予定されています。</p> <p>１つ目は、長岡市が行う「法人業務継続の検討」などに対して、委員のご意見を伺うものです。</p> <p>２つ目は、次期中期目標骨子案について、各委員にご意見を伺います。</p> <p>３つ目は、法人の役員報酬規程の改正について、ご意見を伺うものです。</p> <p>それでは、議事（１）について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・政策企画課課長</p>	<p>(資料 No. 1 に基づき説明)</p>

委員長	<p>議事（１）について説明していただきました。 委員の皆様からご質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>資料１別紙の認証評価結果の概要の「努力課題」で、図書館に専門的な知識を有する専任職員を配置していないため、改善が望まれると指摘されていますが、どういう状況か確認させてください。</p>
長岡造形大学・ 久島事務局長	<p>長岡造形大学では、図書館に司書資格を持った嘱託職員を配置していますが、専任職員は配置していない状況です。今後、専任職員を配置しなければならないと認識しています。</p>
委員	<p>なぜ全国的に博士課程を目指す学生が少ないのでしょうか。</p>
長岡造形大学・ 水流理事長	<p>博士課程を修了した者の社会の受け皿、つまり就職先が少ないことが要因の一つではないかと考えられます。</p>
長岡造形大学・ 和田学長	<p>長岡造形大学では大学院改革に取り組み、今年度からイノベーション領域という新たな領域を新設しました。イノベーション領域では、デザイン思考の手法を用いて問題を発見し、新たな価値を創造するという活動を積極的に打ち出しています。大学として、大学院の魅力向上に取り組んでいるところです。</p>
委員	<p>長岡造形大学の大学院を卒業した人で長岡造形大学の教授になった人はいますか。</p>
長岡造形大学・ 和田学長	<p>現時点ではいません。 教授については公募して採用していますが、実学を重視する本学の特性から、実社会で経験を積んだ人材を多く採用しています。 大学院を卒業した１期生が現在４０歳前後で、会社の課長級・部長級クラスになってきていますので、今後応募してくれる方が出てくることはあるかもしれません。</p>
委員	<p>長岡造形大学の学部を卒業して他大学の大学院に進学するケースや、その逆のケースというのは、数として多いでしょうか。</p>

長岡造形大学・ 水流理事長	平成31年度の本学大学院修士課程入学予定者は、本学学部生が15人中12人、他大学からの入学予定者が3人です。本学の学部を卒業して他大学の大学院に進学する予定の学生は、若干名です。
委員	平成31年度入試の応募状況はどうでしたか。
長岡造形大学・ 水流理事長	志願倍率は5.1倍でした。平成26年度に公立化して6回目ですが、毎年ほぼ5倍前後と高い比率で推移しており、大変喜んでおります。
委員長	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ここで大学の皆さんには一時退室していただいて、資料1の「項番4 業務を継続させる必要性について(案)」と「項番5 組織の在り方その他組織及び業務の全般にわたる検討について(案)」について、委員の中で議論させていただきたいと思います。</p> <p>【長岡造形大学 一時退室】</p>
委員長	それでは、「項番4 業務を継続させる必要性について(案)」と「項番5 組織の在り方その他組織及び業務の全般にわたる検討について(案)」について、委員の皆さんのご意見はいかがでしょうか
委員	長岡造形大学は長岡市だけでなく全国的にも認知されてきていますし、これからも続けていってほしいと思います。また、長岡市内に若い人が大勢いるということは良いことですから、大学があるというのは大事だと思います。
委員	公立化してから、まだ間もないこともあり、課題点もあると感じていますが、第1期における毎年の年度評価を妥当であると評価してきた点を踏まえると、第1期の取組みを第2期、第3期へとつなげていってほしいと思います。
委員	よくやっけていらっしやると思いますし、一つ一つ課題をクリアしてきていると思います。真摯に取り組まれていると思います。
委員長	皆さん肯定的なご意見だと感じました。 平成27年度に大学基準協会から、いくつか課題を指摘されたわけで

	<p>すが、一つ一つクリアしてきています。まだ、課題が残されていますが大学の皆さんも、そのことを認識して第2期でクリアしようという姿勢が見られます。大学を継続させることは妥当であろうと思います。</p> <p>次の「項番5 組織の在り方その他組織及び業務の全般にわたる検討について（案）」につきましても、第2期中期目標・中期計画の策定にあたって、課題等を反映させていくという前向きな考えです。こちらもよろしいでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>(委員賛同)</p> <p>それでは、委員の皆さんから確認が取れたということになります。大学の皆さんにもう一度入室していただきたいと思います。</p> <p>【長岡造形大学 入室】</p>
<p>委員長</p>	<p>今ほど、委員の皆さんから大学の継続等について前向きな意見が出されたところです。</p> <p>それでは、続いて議事（2）について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・政策企画課課長</p>	<p>(資料 No. 2 に基づき説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次期中期目標の骨子案について各委員からご意見をお聞きしていきたいと思います。</p> <p>まず、本日欠席の委員から事務局にご意見が届いていますので、事務局から報告していただきたいと思います。</p>
<p>事務局・政策企画課課長</p>	<p>質問とご意見が届いております。</p> <p>まず、質問についてです。</p> <p>1点目は、柱立ての「I教育」の①の想定している主な取組みの中で、新カリキュラムの編成とありますが、どのような科目でどのようなことを想定しているのか教えてほしい。</p> <p>2点目は、柱立ての「I教育」の③の想定している主な取組みについて、具体的に想定していることを教えてほしい。</p>

<p>長岡造形大学・ 和田学長</p>	<p>という2点です。</p> <p>1点目のご質問に対しては、これまで本学でデザインシンキング、デザイン思考ということに取り組んできましたが、明文化していませんでした。本学として「デザイン思考」をどのような方針で志向していくかということを現在構築しています。ある程度、方針が定まってきましたので、新しいカリキュラムを組む時には、その方針を盛り込むことを考えています。新しいカリキュラムでは、学部の1年生から「デザイン思考」の手法について学ぶ科目の設置を想定しています。</p> <p>それから2点目については、既存の地域協創演習において地域社会と連携した演習を行うことや、受託研究として教員が学生を巻き込んで、地域と連携しながら課題解決に取り組んでいくことなどを想定しています。</p>
<p>事務局・政策企画 課課長</p>	<p>続いて、いただいたご意見です。</p> <p>「柱立て、主に教育、地域貢献が少し具体的な表現になったと感じました。地域貢献では、長岡という言葉が入り良いと思いました。」というご意見をいただきました。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、各委員からご発言いただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>素案を作成する際には、少子化の進展など社会情勢が変化していることなども記載してほしいと思います。社会情勢の変化をしっかりと見据えた中期目標であることを示していただければと思います。</p> <p>それから、第1期の良かったところ、悪かったところを踏まえた方針を検討する必要があるのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>国連でSDGsが示されています。経済界でもSDGsを意識しており、社会貢献や社会課題の解決などにつながる事業を行っていかないと生き残れない社会に変わってきています。</p> <p>それから政府は、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新たな社会を「Society 5.0」として掲げています。</p> <p>一例ではありますが、社会は変わってきていますので、社会の変化を見据えて中期目標を作成していただければと思います。</p>

事務局・政策企画課課長	<p>これから素案作りを行っていくわけですが、いただいたご意見を踏まえて前文を作っていくしたいと思います。第1期を生かして、あるいは時代の流れを捉えて、前文を作り、それらを柱立てに落とし込んでいきたいと思っています。</p>
長岡造形大学・水流理事長	<p>今ご指摘のあったことは、問題発見・解決力というところにも大きく関わってくるのだと思っております。ソーシャルデザインという言葉に象徴されるように、社会問題に対してどうデザインで解決していくかがクローズアップされているように感じます。貧困をどうやって解決していったらいいかというように、まさにSDGsにつながる話で、デザイナーがデザイン思考で解決していく話だと思います。</p> <p>問題発見・解決力という言葉に込められた意味というのは、まさに今のお話につながるものだと感じています。</p>
委員	<p>小中学生が制作したデザイン作品を集めて展示する機会がもっとあってもいいのではないかなと思います。今は中学生はほとんどが美術作品だと思いますので、デザイン作品を展示してもいいのではないかなと思います。</p> <p>それから、新しいことにチャレンジするという意味で、例えばですが、オリンピックに競技ごとのロゴマークがあるように、長岡市役所の各課のロゴマークを作って、各部署に置くような新たなチャレンジがあってもいいのかなあと思います。</p>
長岡造形大学・和田学長	<p>教育現場では美術や工作はありますが、デザイン制作という取り組みが行われていませんので、もしやるとしたら、コンテストやワークショップを開催することなどが考えられると思います。</p>
委員長	<p>今回、長岡造形大学が問題発見ということを強調されて、従来の造形という枠組みから膨らませて、デザイナーが社会において果たすべき役割がもっとあるのだと、そういう能力を持った人材を育てるのだということをおっしゃっているように感じました。</p> <p>先ほど博士課程を目指す人が少ないという話がありました。たしかに従来の造形、作家としての枠組みで博士課程を目指す人は少ないかもしれませんが、もっと広い視野を持って、長岡造形大学では作家に限らずもっと幅広い人を集めているということを強調していけば、大学院入学者の増加につながるのではないかなと思います。次期中期目標</p>

<p>委員長</p>	<p>を作成するうえでも、そうしたことに意識されてはどうかと思います。 それでは、今の議論をもとに事務局で素案の作成を進めていただきたいと思います。</p> <p>続いて、議事（３）役員報酬規程の改正について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・政策企画課課長</p>	<p>（資料 No. 3 に基づき説明）</p>
<p>委員長</p>	<p>議事（３）について委員の皆様からご意見等ありましたらお願いします。</p> <p>（各委員から意見なしの発言）</p>
<p>委員長</p>	<p>意見なしということを確認させていただきました。 本日予定していた議事は以上となります。 進行にご協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
<p>事務局・政策企画課課長補佐</p>	<p>中村委員長ありがとうございました。 次第の３その他としまして、次回の評価委員会について、事務局からご連絡いたします。</p> <p>（次回会議日程について説明）</p>
<p>事務局・政策企画課課長補佐</p>	<p>それでは、以上を持ちまして「平成30年度第４回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。</p>
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次第・出席者名簿 ○ 資料 1 中期目標期間終了時の検討について ○ 資料 2 第2期中期目標の策定について ○ 資料 3 長岡造形大学役員報酬規程の改正について 	